

# 株式会社北國銀行 会社説明資料

専務取締役 杖村 修司



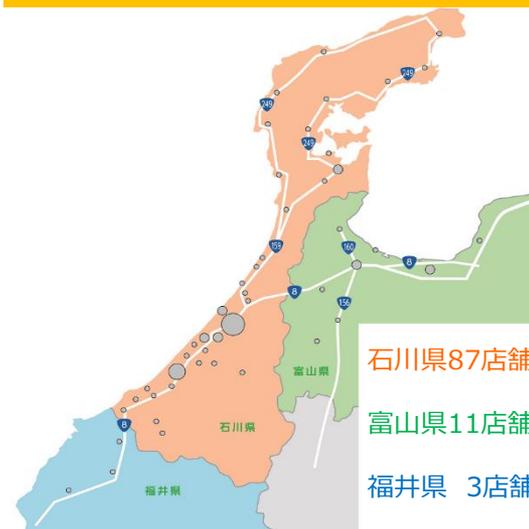
- 
- 
1. 当行の概要
  2. 当行の業績
  3. 貸出金
  4. 有価証券運用
  5. 経営戦略
  6. ガバナンス
  7. 資本充実と株主還元

# 1 当行の概要

## 会社概要(2019.3月期)

名称	株式会社北國銀行
証券コード	8363 (東証一部)
本店所在地	石川県金沢市広岡 2丁目12番6号
設立	1943年12月18日
総資産	5兆143億円
貸出金	2兆5,829億円
預金 (除く譲渡性預金)	3兆5,438億円
格付け	S&P : A- (長期) R&I : A+ (長期)
発行済 株式総数	29,110千株
関連会社	北国総合リース (株) (株) 北国クレジットサービス 北国保証サービス (株) 北国マネジメント (株) 北国債権回収 (株)

## 店舗ネットワーク



都市・海外支店	
東京都	1店舗
大阪府	1店舗
愛知県	1店舗
シンガポール	1店舗
海外駐在員事務所	
上海	1か所
バンコク	1か所

店舗数 : 105店舗 (内店舗内店舗:5店舗) ⇒ 拠点数は100店舗

## プラザ拠点

マネープラザ 9か所

※2019年4月1日に「ローンセンター」「ほけんプラザ」「マネープラザ」に分かれていた窓口を「マネープラザ」へ統合しました。

## A T Mネットワーク

### 北陸3県のA T M網

北國銀行  
A T M 404台

コンビニATM  
(ローソン、Enet、セブン)  
約1,000台



福井銀行 北國銀行 富山第一銀行

# 2 当行の業績

## (1) 損益の概要

【単体】

(単位：百万円)

	2018.3月期	2019.3月期	増減	増減率
経常収益	57,693	56,610	△ 1,083	△ 1.8%
経常利益	14,741	12,780	△ 1,961	△ 13.3%
当期純利益	9,479	8,023	△ 1,456	△ 15.3%
コア業務純益	16,694	13,253	△ 3,441	△ 20.6%

【連結】

(単位：百万円)

	2018.3月期	2019.3月期	増減	増減率
経常収益	68,633	67,114	△ 1,519	△ 2.2%
経常利益	16,367	14,165	△ 2,202	△ 13.4%
当期純利益*	10,163	8,583	△ 1,580	△ 15.5%

\*親会社株主に帰属する当期純利益

## (2) 自己資本比率

(単位：%)

	2017.3末	2018.3末	2019.3末	増減
連結自己資本比率	12.60%	12.32%	11.78%	△ 0.54%

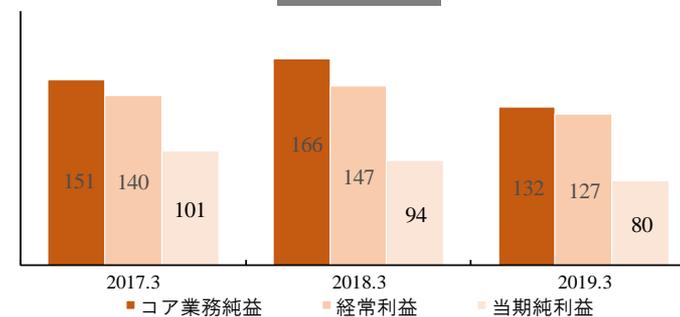
## (3) 単体決算の概要

(百万円)

	2018.3月期	2019.3月期	増減
コア業務粗利益	45,041	41,509	△ 3,532
資金利益	39,197	35,556	△ 3,641
うち 貸出金利息	26,620	26,302	△ 318
うち 有価証券利息配当金	14,969	13,263	△ 1,706
うち 預金等利息 (△)	413	351	△ 62
うち 短期運用・調達利息等	△ 1,979	△ 3,658	△ 1,679
役員取引等利益	5,332	5,604	272
その他業務利益(除く債券関係損益)	511	349	△ 162
経費 (△)	28,346	28,256	△ 90
うち 人件費 (△)	14,441	14,372	△ 69
うち 物件費 (△)	11,958	12,004	46
コア業務純益	16,694	13,253	△ 3,441
有価証券関係損益	507	2,681	2,174
不良債権処理額 (△)	1,562	3,195	1,633
経常利益	14,741	12,780	△ 1,961
特別損益	△ 629	△ 710	△ 81
法人税等 (△)	4,632	4,047	△ 585
当期純利益	9,479	8,023	△ 1,456

億円

単体損益の推移



自己資本比率の推移



コア業務純益 前年比 △3,441百万円

- ・役員取引等利益が増加するも、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少により、コア業務粗利益は前年比3,532百万円減少の41,509百万円。
- ・経費は、人件費・物件費ともに前期並の28,256百万円。

経常利益 前年比 △1,961百万円

- ・有価証券関係損益は、主に債権売却損が減少し前年比2,174百万円増加の2,681百万円。
- ・不良債権処理額は、前年比1,633百万円増加の3,195百万円。

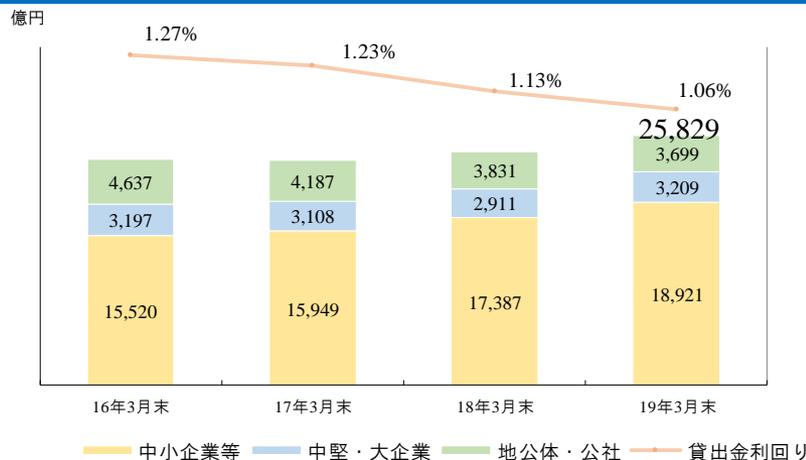
当期純利益 前年比 △1,456百万円

- ・経常利益の減少により、前年比1,456百万円減少の8,023百万円。

# 3-① 貸出金 ～セグメント別残高～

- 北陸地区の中小企業や個人向けの貸出が増加した結果、前年度末比1,700億円増加の2兆5,829億円
- 中小企業等向け貸出は、前年度末比1,534億円増加し、中小企業等向け貸出比率は1.2ポイント上昇の73.2%

## 貸出金末残及び利回り



## 地域別内訳

	17年3月末	18年3月末	19年3月末	18年3月比増減	18年3月比増減率
北陸3県合計	20,901	21,942	23,508	1,566	7.1%
うち石川県	16,872	17,327	18,128	801	4.6%
うち富山県	3,351	3,816	4,343	527	13.8%
うち福井県	678	798	1,035	237	29.6%
その他	2,343	2,187	2,321	134	6.1%

## 規模別内訳

	17年3月末	18年3月末	19年3月末	18年3月比増減	18年3月比増減率
貸出金計	23,244	24,129	25,829	1,700	7.0%
うち中小企業等	15,949	17,387	18,921	1,534	8.8%
(中小企業等比率)	68.6%	72.0%	73.2%	1.2%	—
うち中堅・大企業など	3,108	2,911	3,209	298	10.2%
うち地公体・公社	4,187	3,831	3,699	△132	△3.4%

## 属性別内訳

	17年3月末	18年3月末	19年3月末	18年3月比増減	18年3月比増減率
事業性貸出	11,375	11,796	12,686	890	7.5%
消費者ローン	7,681	8,501	9,443	942	11.0%
うち住宅ローン	7,271	8,071	9,018	947	11.7%
うちその他ローン	410	430	425	△5	△1.1%
地公体・公社	4,187	3,831	3,699	△132	△3.4%

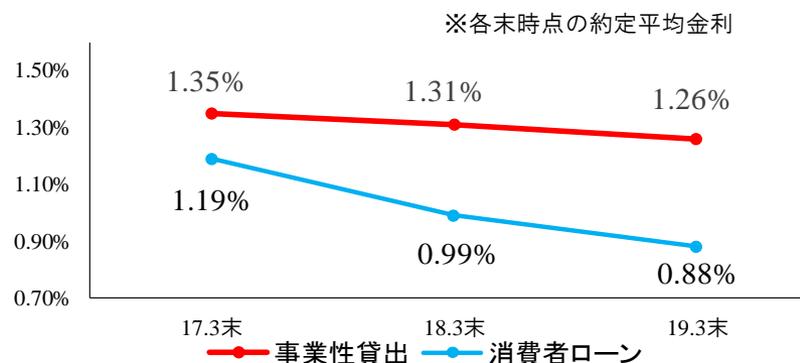
# 3-② 貸出金 ～貸出金利・不良債権の保全状況～

- 事業性貸出金利回りの低下は軽微にとどまっているが、消費者ローンは住宅ローン中心に低下
- 不良債権の担保・保証と引当金による保全率は94.7%と地銀トップクラス

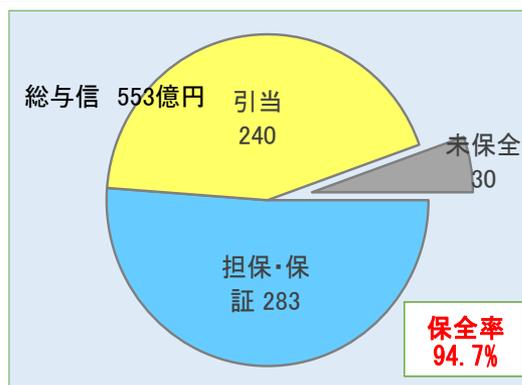
## 属性別貸出金利推移

単位：％

	17.3末	18.3末	19.3末	増減 (18.3末比)
事業性貸出	1.35	1.31	1.26	▲ 0.05
うち大企業	0.45	0.41	0.50	0.09
うち中小企業	1.61	1.53	1.45	▲ 0.08
消費者ローン	1.19	0.99	0.88	▲ 0.11
うち住宅ローン	1.03	0.83	0.73	▲ 0.10
うちその他ローン	3.04	3.00	2.98	▲ 0.02



## 不良債権全体の保全状況（DCF法適用）



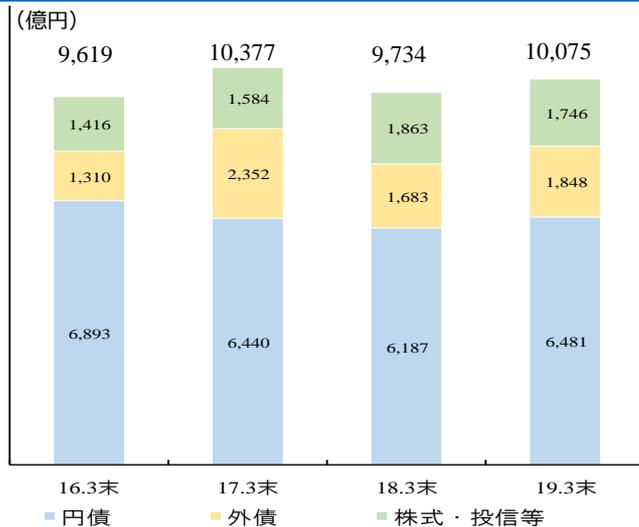
	与信額	担保・保証	引当額	未保全
要管理先	13	3	-	<b>10</b>
破綻懸念先	473	252	200	<b>21</b>
実質破綻先	38	16	22	-
破綻先	29	11	17	-
合計	553	283	240	<b>30</b>

(単位：億円)

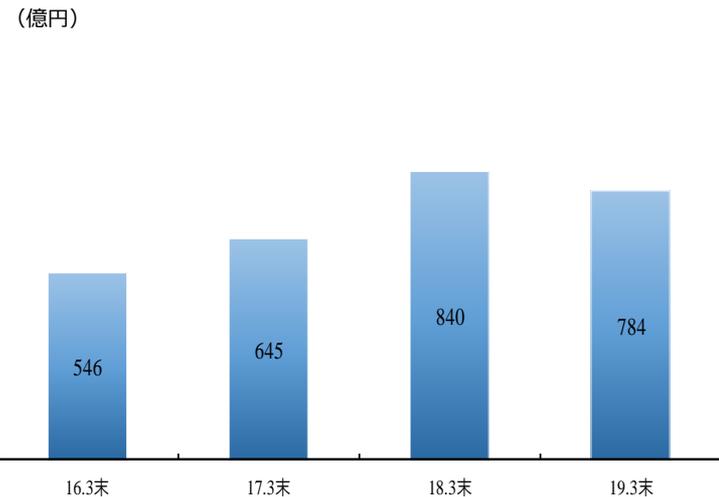
# 4 有価証券運用 ～これまでの取組みと方針、残高・損益～ 北國銀行

- 長期的な目線で分散投資戦略による収益性および質の向上に注力
- 投資環境の変化に対応し機動的売買により収益確保を図る

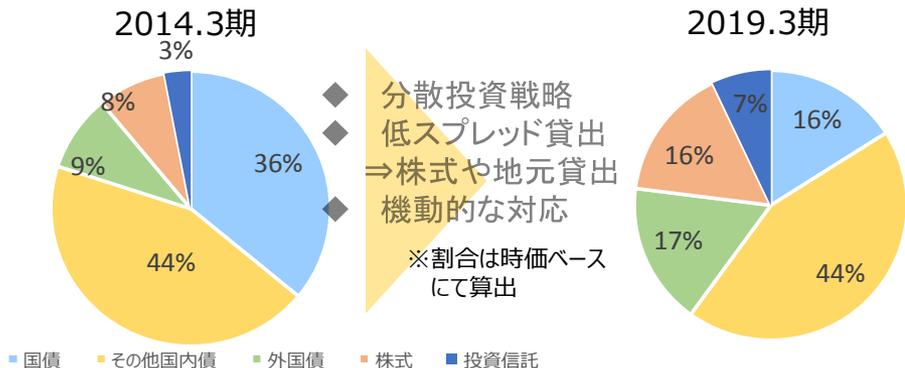
## 有価証券残高



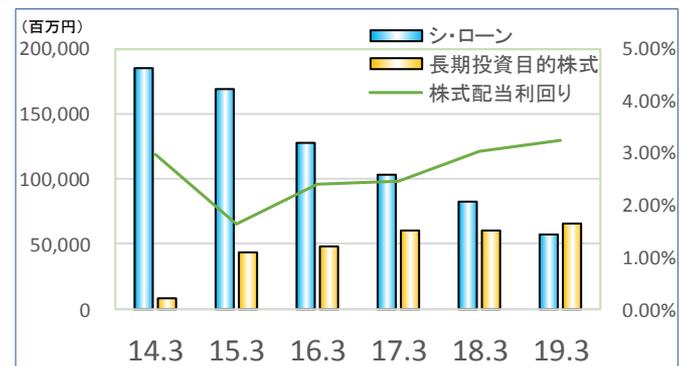
## 有価証券評価損益



## 分散投資戦略によるポートフォリオの変化



## <参考> 大企業向け貸出 (シ・ローン) → 上場株式



# 5-① 経営戦略 ～北國銀行の目指す姿～

## 地域経済を取り巻く環境は厳しく、北國銀行は「顧客志向」の深化へ

人口減少による  
市場縮小

人口減少による  
労働力不足

国の財政状況の  
深刻化

マイナス金利

価値観の多様化

地域経済を取り巻く環境

### ① 強靱な経営体質の構築

- 戦略的な効率化、生産性向上の実現  
例) 店舗統廃合  
本部集中化  
生産性2倍運動  
ペーパーレス化

### 当行の目指す姿

**Next Regional Commercial Bank**  
(次世代版 地域商業銀行)

景気に左右されず  
地域と共に歩む  
メインバンク

総合的・多面的な  
ソリューション

### ② フィービジネスの実現

- ファイナンスリース、カード・加盟店業務の取組強化

### ③ コンサルティング (融資+付加価値)

- 100名の本部コンサルティングチームによる、企業のライフステージに応じたニーズ対応 (創業・医療・介護・海外・ICT・M&A・経営改善・事業承継・再生ファンド等)

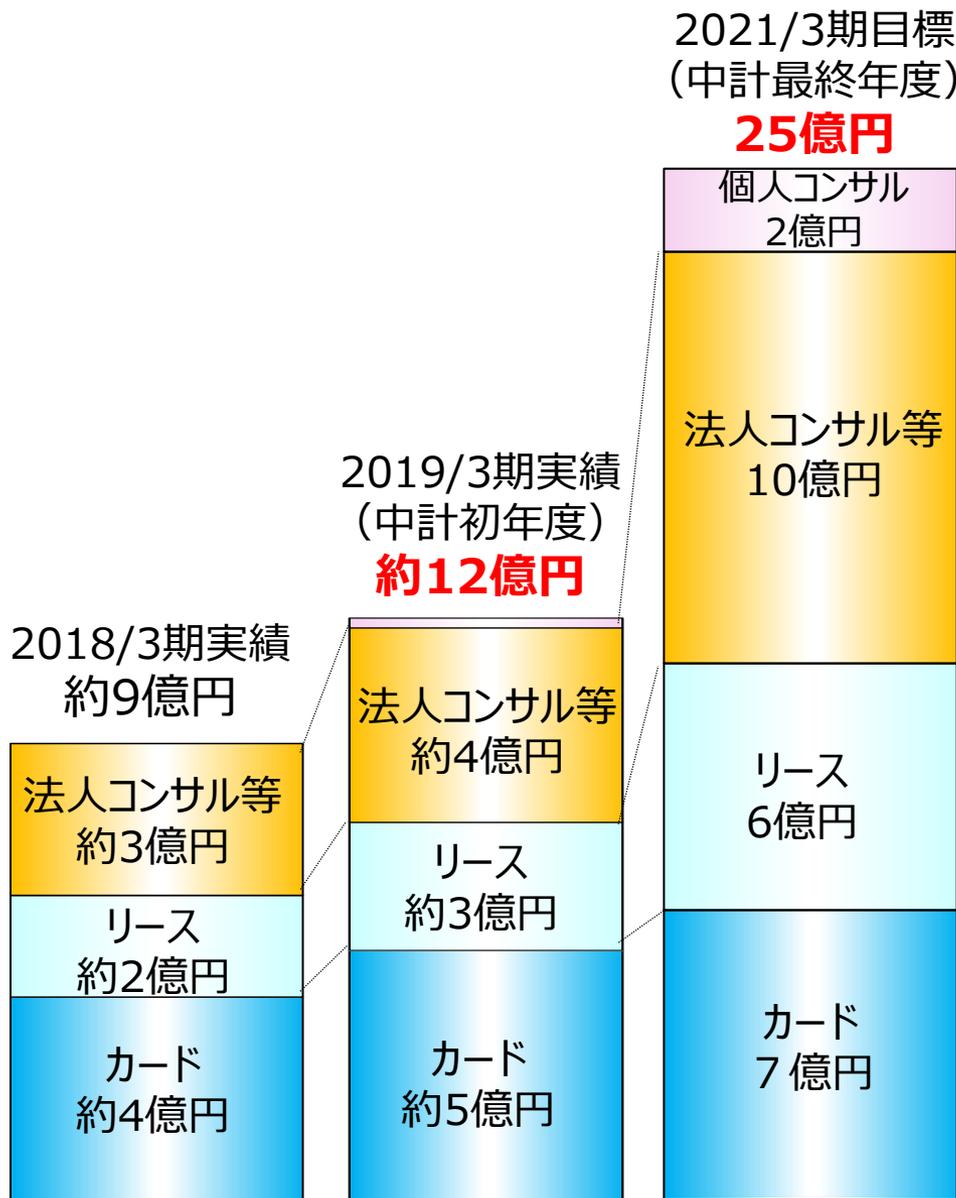
不景気を乗り切る商業銀行としてのレジリエンス (耐久力) 【収益&コスト】

## 5-② 経営戦略 ～生産性向上の取組結果～

- 収益環境は大きく変化し、資金利益の減少を業務効率化等による経費削減で補填

	1999年3月期	2009年3月期	2019年3月期	増減 (1999/3→2019/3)
コア業務粗利益	528.5億円	498.5億円	415.0億円	△113.5億円
資金利益	481.9億円	431.4億円	355.5億円	△126.4億円
役務利益	43.5億円	63.3億円	56.0億円	12.5億円
経費	350.0億円	334.4億円	282.5億円	△67.5億円
コア業務純益	178.4億円	164.0億円	132.5億円	△45.9億円
預金	24,784億円	27,940億円	35,438億円	10,654億円
貸出金	20,233億円	21,623億円	25,829億円	5,596億円
貸出金利回り	2.28%	1.95%	1.06%	△1.22%
有価証券利回り	3.39%	1.44%	1.31%	△2.08%
預金利回り	0.44%	0.28%	0.01%	△0.43%
経費率	1.47%	1.19%	0.81%	△0.66%
拠点数	149店舗	123店舗	100店舗	△49店舗
			店舗内店舗5店舗 ⇒支店数105店舗	
行員数	2,436人	2,029人	1,787人	△649人

# 5-③ 経営戦略 ～新業務収益について～



## 個人向けコンサルティング

- ・信託業務(2018.10開始)、資産承継サービスが徐々に浸透。セミナー等でのニーズ喚起を継続。

## 法人向けコンサルティング等

- ・ICT・人事・経営戦略等のニーズ増加に対応。
- ・コンサルティングサービスの質の向上に向け、人材育成にも注力。

## リース事業

- ・融資とリースのベストミックス体制を強化。
- ・グループ会社（北國総合リース）との連携強化。

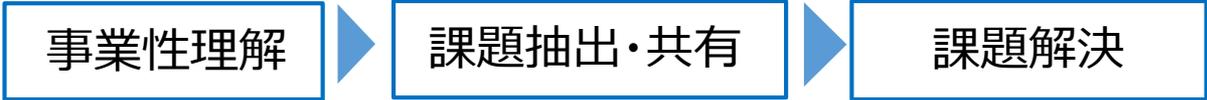
## カード事業

- ・デビットカード会員数、加盟店増加  
 会員数 18/3期109千枚→19/3期154千枚  
 → (21/3期280千枚へ)  
 加盟店 18/3期3,410台→19/3期5,537台  
 → (21/3期9,000台へ)
- ・ECモール (COREZO) のオープンと合わせ、地域のキャッシュレス化、生産性向上に貢献。

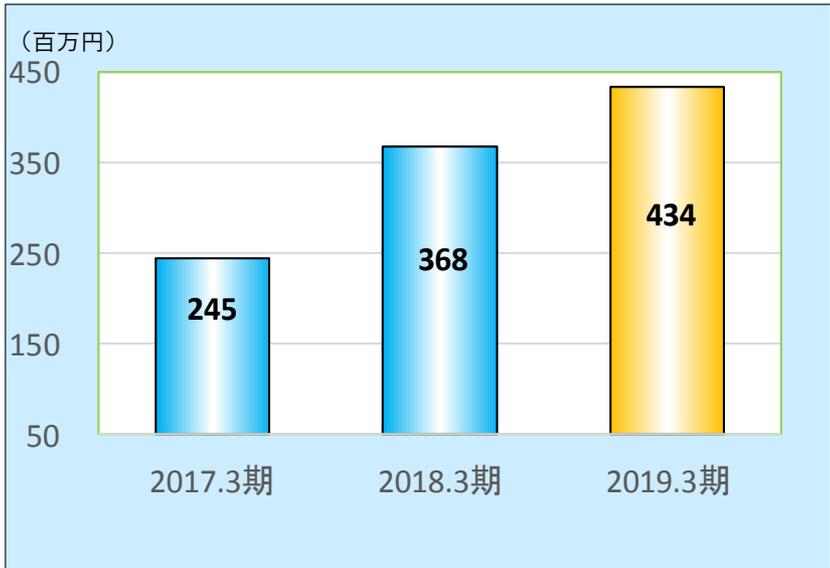
# 5-④ 経営戦略 ～コンサルティング～

～当行のコンサルティングの考え方～

- ・ お客さまの課題解決能力の向上をサポートすることが「お客さまの経営力向上⇒地域活性化への貢献」につながる
- ・ 迅速かつ高品質のサービス実現のため、100名の専門部員が営業店と一体となりサポート
- ・ コンサルティングの質の向上と、数多くの多様なニーズにお応えするべく人材育成を強化



## コンサルティング業務 契約金額



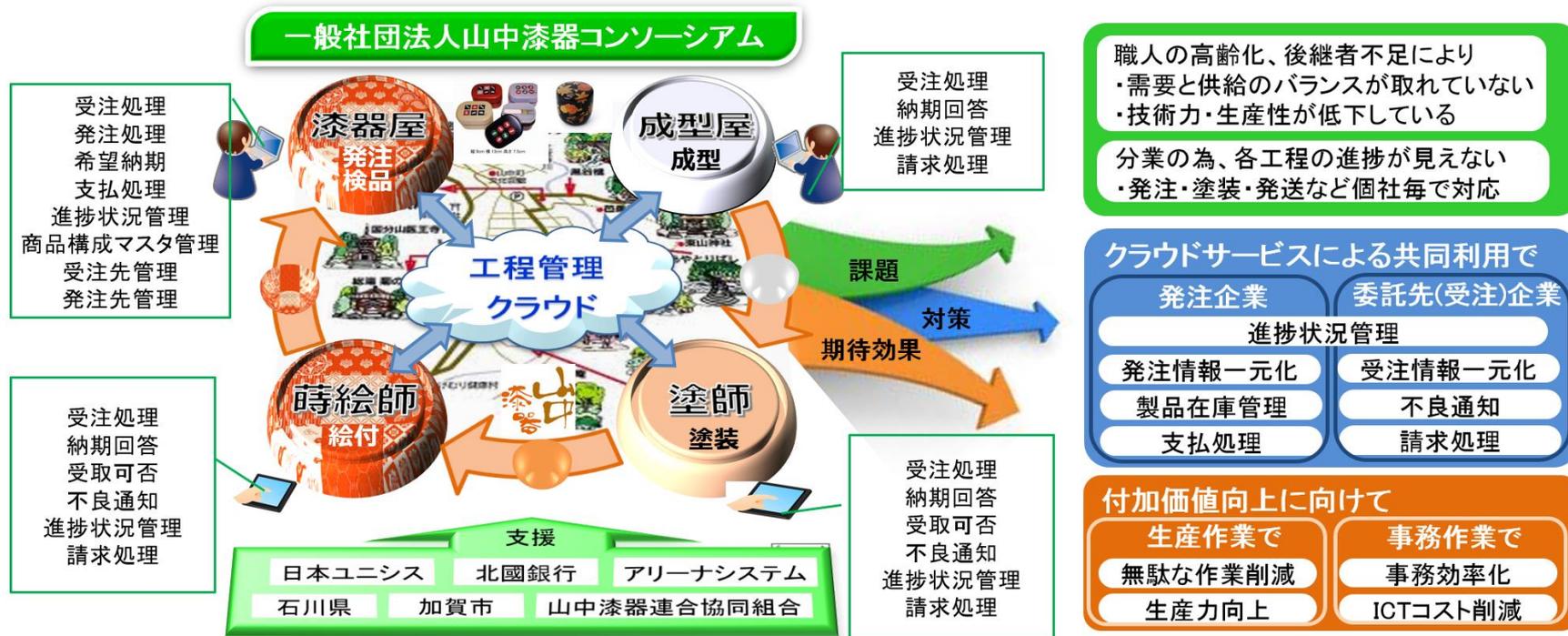
## 主なコンサルティングメニュー

経営戦略	事業承継・資本戦略	M&A
業務効率化	経営強化	ICT
人材育成	人事制度	退職金制度
ビジネスマッチング	不動産	海外展開
創業	医療・介護	補助金

# 5-④ 経営戦略

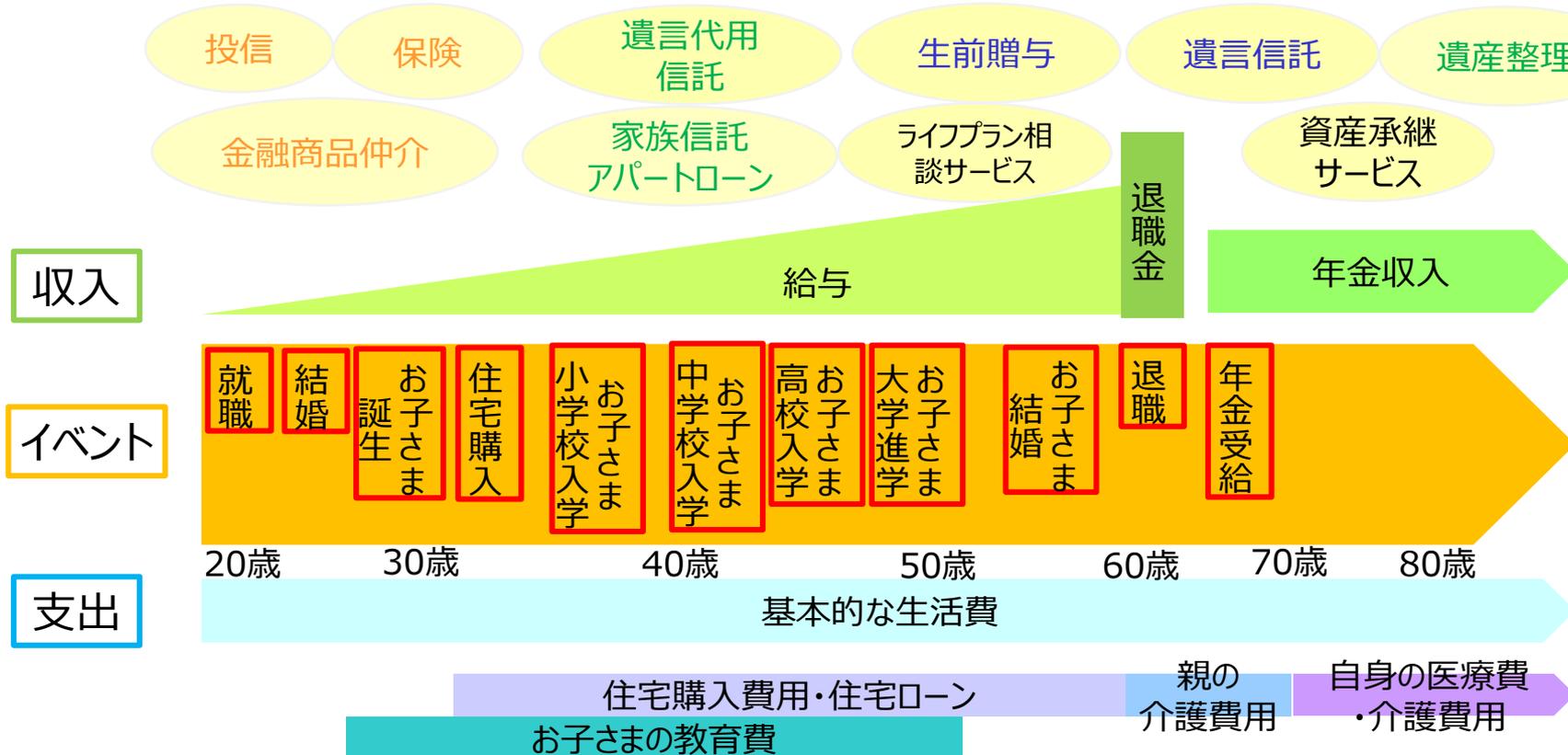
## ～コンサルティングの事例：ICTを活用した山中漆器生産性向上プロジェクト～

- 個社だけではなく、産地全体で課題を共有し取りまとめ、システムの設計を含むプロジェクトマネジメントを実施することで山中漆器産業の効率化・生産性向上に貢献
- 日本一の漆器生産地でのICT化（従来の商慣習のデジタル化により、サプライチェーンの効率化）を全面的にサポート
- 2019.3.9 総務省主催のICT地域活性化大賞奨励賞受賞



# 5-④ 経営戦略 ～個人向けコンサルティング～

- お客様のライフステージ、悩み、ニーズに合わせて最適なアドバイスとサービスを提供
- 顧客起点のコンサルティング、「人生伴走型のコンサルティング」に取り組む

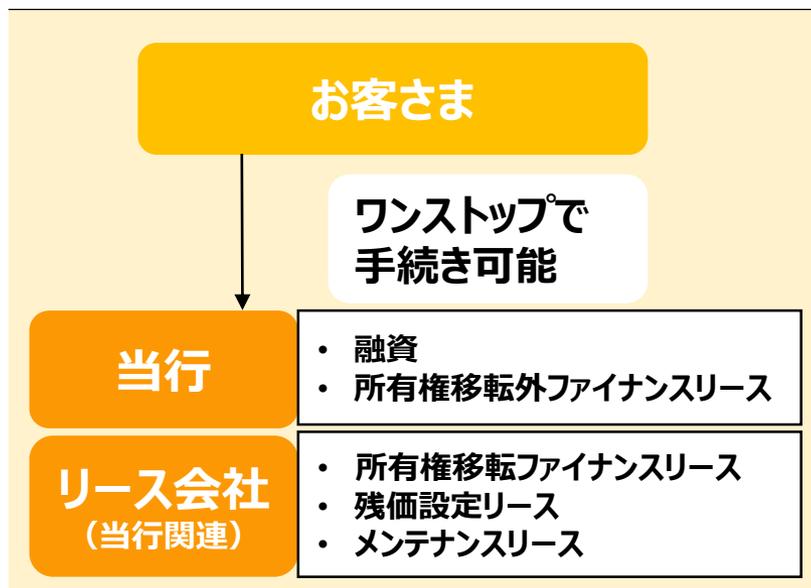


## 人生伴走型のコンサルティングに取り組む

# 5-⑤ 経営戦略～リース事業～

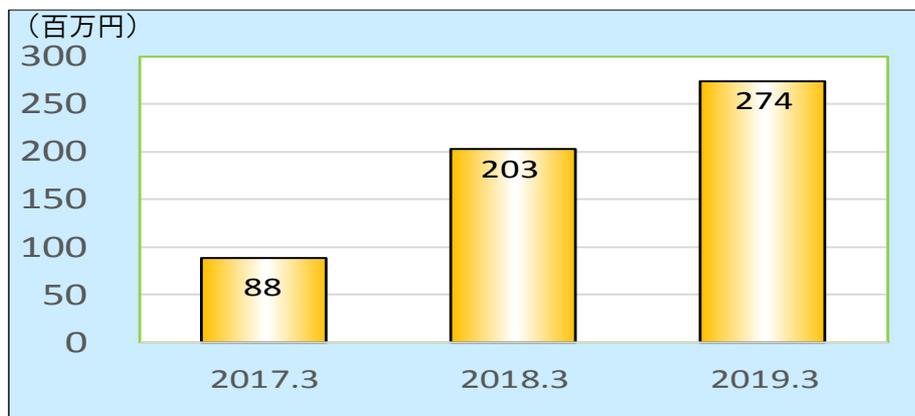
- 「融資とリースのベストミックス」による提案を行うことで、お客さまから相談される体制を構築
- グループ会社との営業連携強化により順調に推移

## 北國銀行の取組み

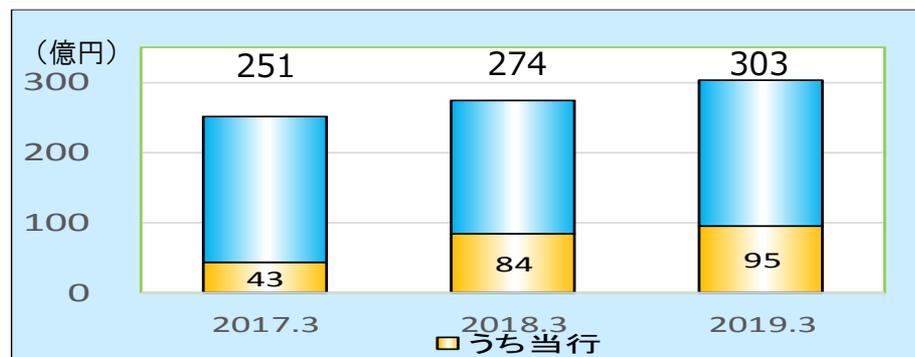


当行法人RMが融資・リースの窓口として  
ベストミックス提案を実現

## リース業務利益の推移 (単体)



## リース投資資産の推移 (グループ累計)



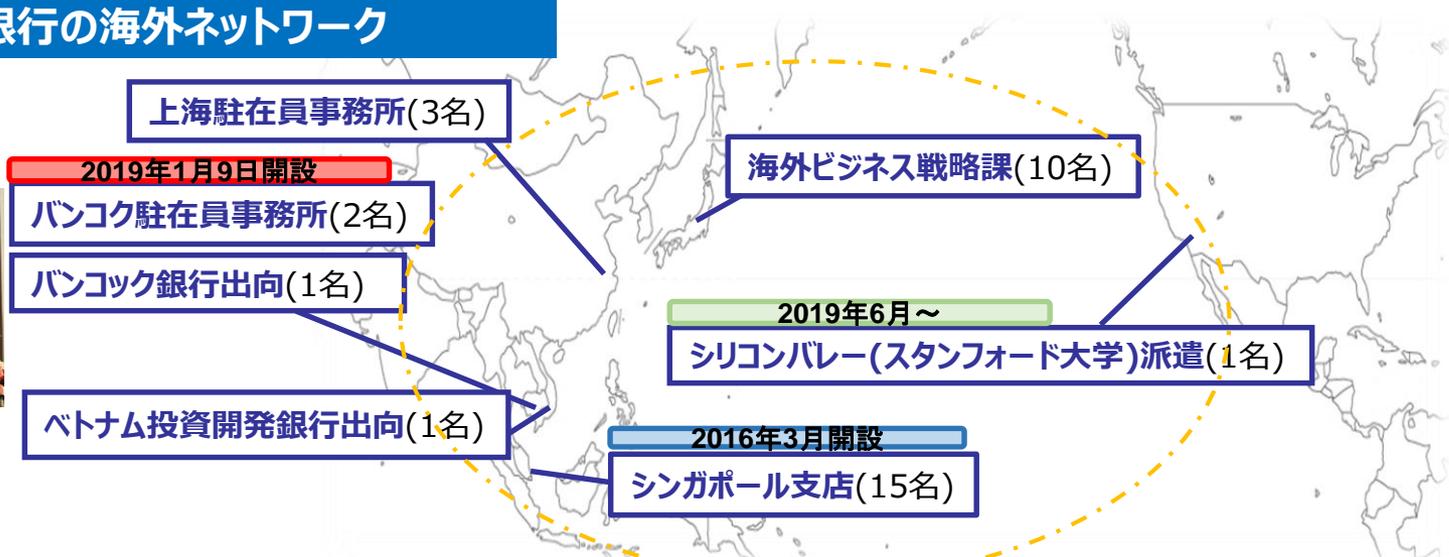
# 5-⑥ 経営戦略 ～海外ビジネスサポート～

- 2019.1 タイでの顧客サポート体制強化のため、バンコク駐在員事務所を新設
- 2019.6 米国西海岸・シリコンバレー（スタンフォード大学）へトレーニー派遣
- 海外拠点を有する強みを活かした金融サービスの提供と販路開拓等のコンサルティング

## 北國銀行の海外ネットワーク



バンコク駐在員事務所  
テープカット



## 北國銀行の海外ビジネスサポート



北國銀行

コンサルティング

お客さま

導入期

成長期

成熟期

海外展 開策	開 定
海外計 画	
市場調 査	

拠 点 設 立
販 路 開 拓
海 外 調 達

現 地 法 人 マ ネ ジ メ ン ト
--

## 海外販路開拓コンサルティングのこれまでの実績

契約件数	55件（食品、伝統工芸など）
成約件数	約90件（現地レストランへの納入成約等）



<販路開拓サポート>  
海外ビジネス商談会  
現地視察の様子

# 5-⑦ 経営戦略

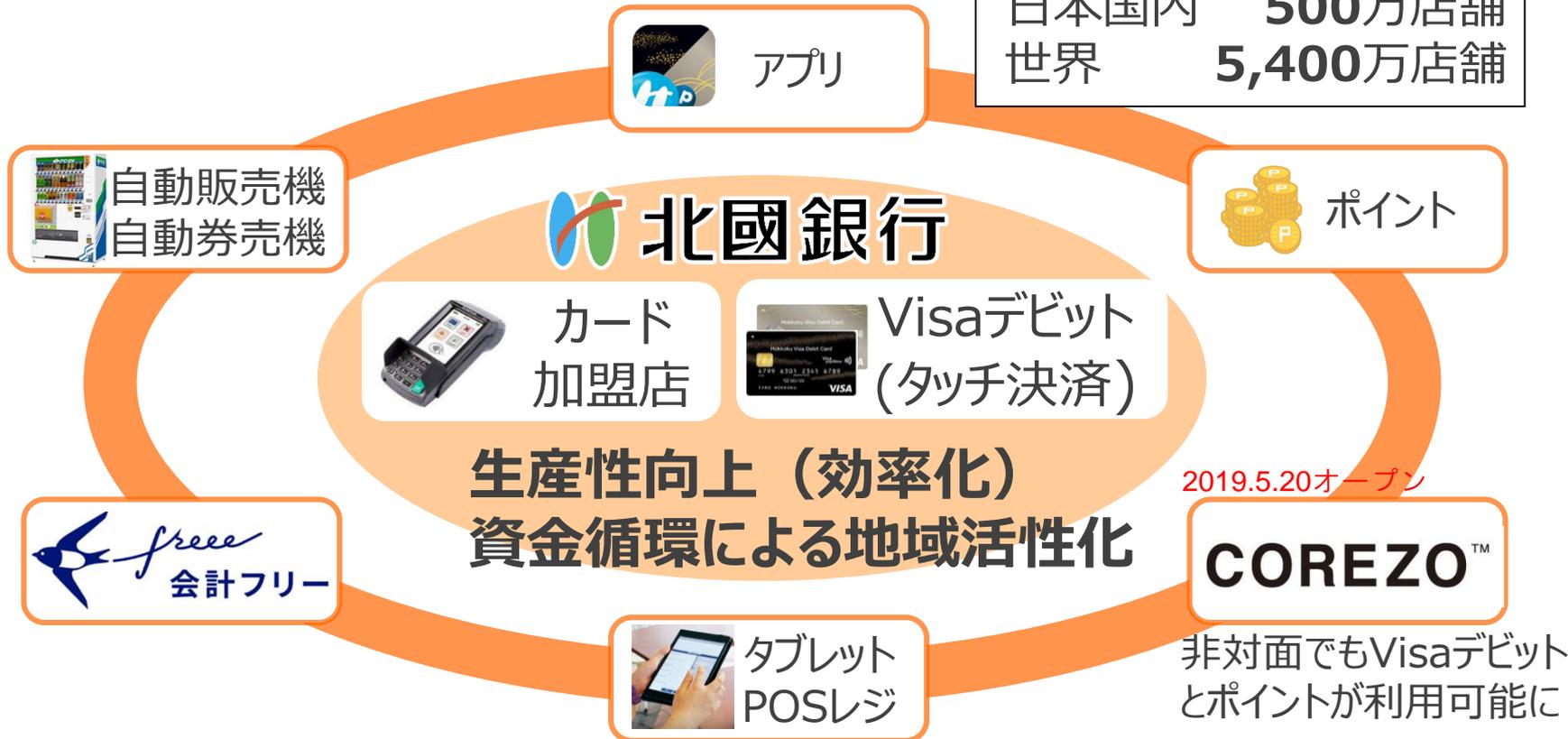
～カード戦略・キャッシュレス社会創出に向けて～

- 地域のキャッシュレス化のための基盤を創出、資金循環による地域活性化に貢献
- 銀行本体で加盟店端末・デビットカードの両方を提供することで、スピード感のある事業展開が可能に

## ■「どこでも使える」カード環境の構築

※Visaカード利用可能店舗

日本国内	500万店舗
世界	5,400万店舗



# 5-⑦ 経営戦略 ～カード事業の取組み状況～

- 当行が自らカード加盟店業務を担うことで、小規模事業者がコストメリットも享受でき、当地のキャッシュレス環境は着実に広がりを見せている

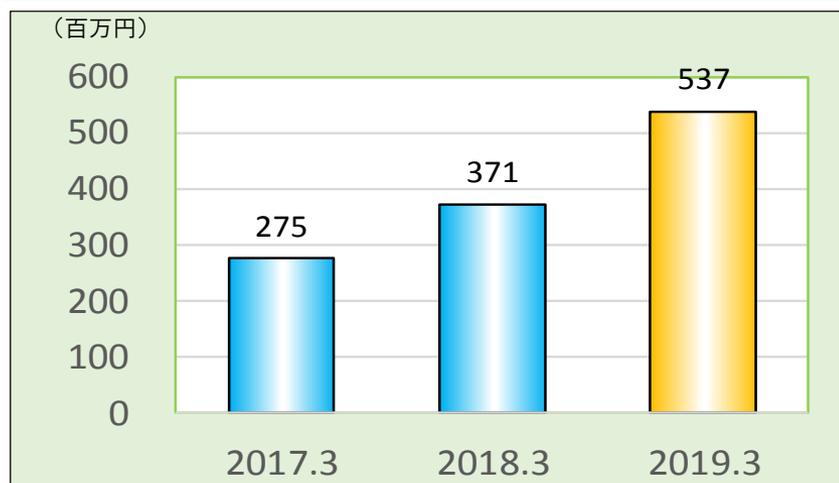
## デビットカード発行枚数（累計推移）



## カード加盟店数（累計推移）



## カード業務利益の推移



## ECモール（COREZO）

「みんなでつくる、北陸のモノ・コト発掘サイト」がコンセプトの参加・共創型 EC サイトです。COREZO が他の EC サイトと違うのは、「モノ」と「コト」を一緒に売るということです。「モノ」と一緒に特産・体験などの「コト」を売り、商品・事業開発などビジネス機会を創出させる新しい形の通販です。

**COREZO とは？**

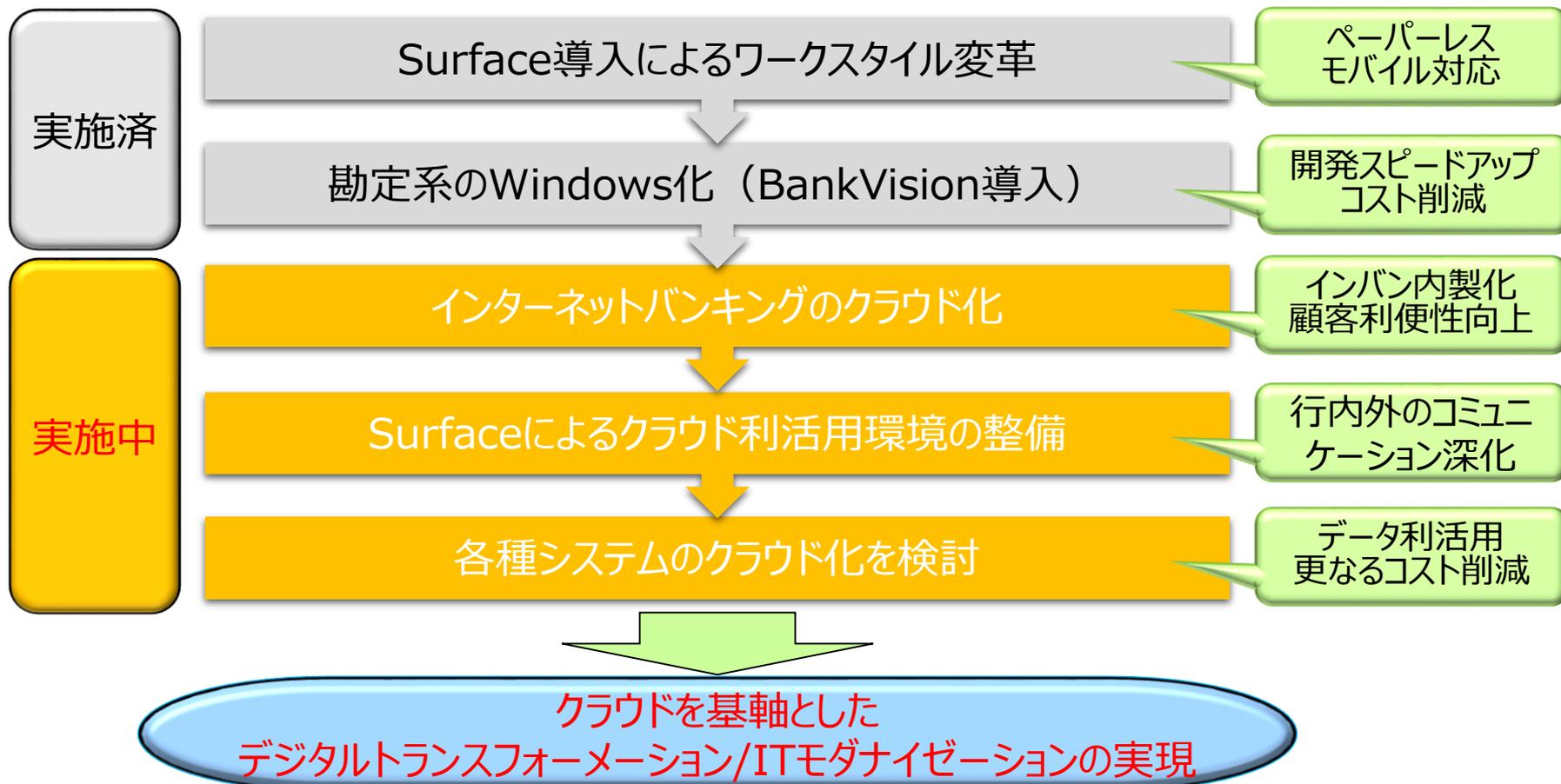
- 商品に付加価値をつける「コト」発信
- 企業と消費者をつなげる参加型企画
- メディアとともに認知度UP

※2019.5.20オープン  
子会社の北國マネジメ  
ント(株)が運営

「モノ」ではなく共感できる「コト」にお金を使う、今の時代の消費スタイル。時代にあった売り方を、企業とヒトと北國銀行がともにつくる通販サイト「COREZO」が始まります。

# 5-⑧ 経営戦略 ~IT戦略~

- 「真の顧客主義の実現」のためには、ビジネスモデルの再構築が必要
- 差別化を図るためには、デジタルトランスフォーメーションが必要
- 下支えのためには、既存ITのモダナイゼーションが必要



# 6-① ガバナンス

## ～政策保有株式（金融機関株式）への対応～

- 持合い株は継続的に削減を進めており、生損保株は売却済。
- 地銀株の保有は主にシステム連携行。

持合い株数推移（金融機関）

（千株）

26,538



8,728

2009.3

2015.3

2016.3

2017.3

2018.3

2019.3

■ 生損保 ■ メガバンク ■ 地銀

### 地方銀行

(2009.3)

(2019.3)

26,538千株⇒8,728千株

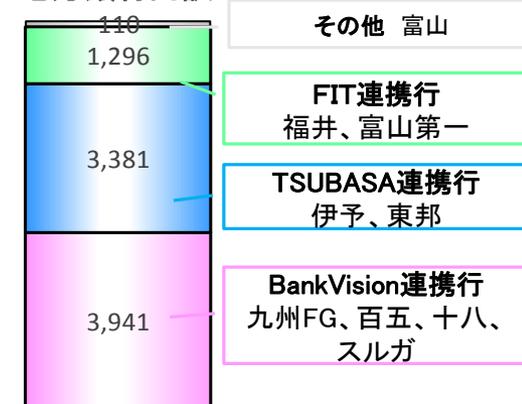
### メガバンク

売却済

### 生損保

売却済

地方銀行内訳（千株）



※上記記載に証券会社は除く。

# 6-② ガバナンス

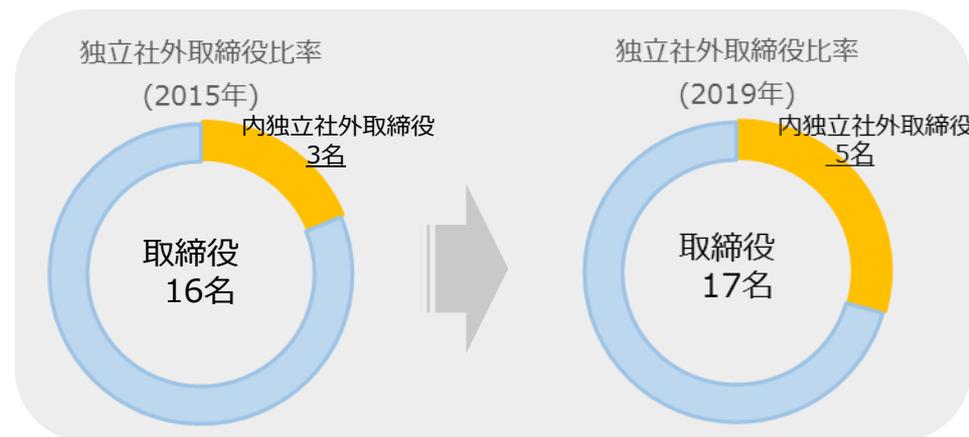
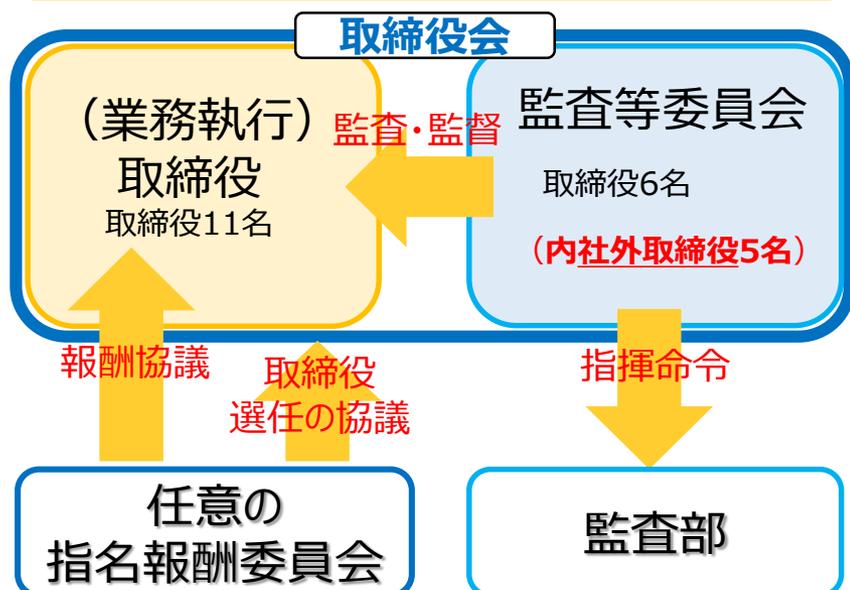
## ～コーポレートガバナンス体制・役員報酬制度～

- 社外取締役の経営参画により、業務決定プロセスの透明性向上。独立社外取締役比率は29.4%。
- 当行の株式価値と取締役等の報酬との連動性をより明確にできる制度を選択。

### コーポレートガバナンス体制

業務執行決定の一部を取締役に委任

→取締役会では経営戦略について建設的な議論を図る



	2015	2016	2017	2018	2019
取締役 (人)	16	16	17	17	17
社外取締役 (人)	4	4	4	4	5
内 独立社外取締役 (人)	3	3	3	3	5
独立社外取締役比率 (%)	18.8	18.8	17.6	17.6	29.4

※社外取締役含む取締役17名は、2019.6.21定時株主総会にて選任予定

### 役員報酬制度

監査等委員でない取締役  
執行役員

月額報酬+業績連動型報酬+株式交付信託

※現在の役員報酬構成比 6 : 2.4 : 1.6

監査等委員である取締役

月額報酬のみ

# 7-① 資本充実と株主還元

## ～自己資本比率の状況とROE～

- 自己資本比率（国際統一基準・連結）は11.78%
- 自己資本比率とのバランスを重視しながらROEの上昇を目指す

### <連結> 自己資本比率の推移



### <単体> 自己資本利益率（ROE）の推移



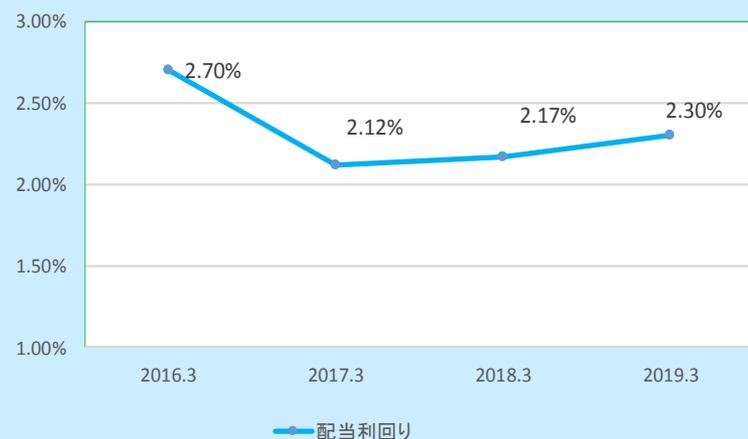
	国内基準		国際統一基準			
	2014.3末	2015.3末	2016.3末	2017.3末	2018.3末	2019.3末
自己資本(連結)	1,991	2,006	2,321	2,411	2,621	2,644
Tier1	—	—	2,080	2,256	2,503	2,521
Tier2	—	—	241	155	118	123
リスクアセット	15,249	17,112	17,886	19,123	21,267	22,434

自己資本利益率（ROE）  
…当期純利益ベース

# 7-② 資本充実と株主還元 ～資本政策～

- 安定配当（年間60円）＋業績連動配当をあわせた配当性向は25～30%を目途
- 自己株式取得・消却は継続的に実施方針

## 配当利回り



## 配当額等の推移



	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3予想
1株当たり年間配当額	8円00銭	9円00銭	90円00銭 ※	80円00銭 ※	70円00銭
自己株式取得	5,000千株	-	850千株 ※	-	
自己株式の消却	14,700千株	-	-	880千株	
配当利回り（配当/期末株価）	2.70%	2.12%	2.17%	2.30%	
1株当たり純資産額	754.42円	803.92円	8,857.72円 ※	8,902.33円 ※	-
株価純資産倍率（PBR）	0.39倍	0.52倍	0.46倍	0.41倍	-

※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合いたしました。2018.3期および2019.3期実績については併合後として記載しております。



## 資料編

1. SDGsへの取り組み
2. 北國銀行の主要計数推移
3. 統合リスク管理



# 資料-①SDGsへの取組み～CSR基本方針～



CSR基本方針に基づく本業を含む様々な企業活動を通じ、地域社会の持続的な発展に貢献 ⇒ SDGs（持続的な開発目標）の達成へ

## CSR基本方針

### ①時代と共生する金融サービス

・地域社会との共有価値の創造につながる金融サービスの提供

- ▶ コンサルティング機能の発揮
- ▶ キャッシュレス社会創出への貢献
- ▶ 地域経済の持続的な成長への貢献



### ②明日を支える存在へ

・柔軟で時代の変化に対応できる組織態勢・企業風土の醸成

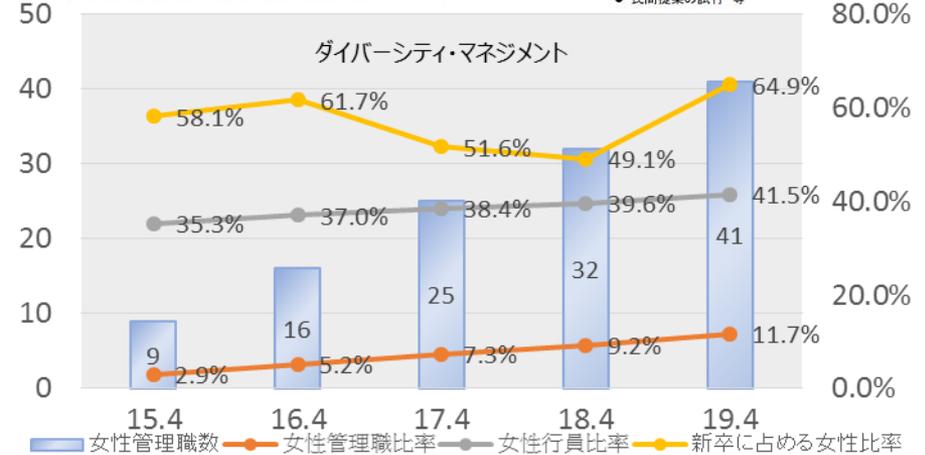
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ ダイバーシティ・マネジメント
- ▶ ワーク・ライフ・バランス



### ③地域のために

・次世代に向けた環境・教育等の支援  
・地域社会との接点強化

- ▶ 地域の金融リテラシー向上支援
- ▶ 環境に配慮した取組み
- ▶ 社会貢献を通じた地域との接点強化
- ▶ スポーツを通じた地域貢献



# 資料-② 北國銀行の主要計数推移

(百万円)

損益の推移（単体）		2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	前年比
業務粗利益		52,403	48,043	44,004	43,911	42,882	△ 1,029
〈除く債券関係損益（5勘定戻）〉		(47,162)	(46,414)	(43,949)	(45,041)	(41,509)	△ 3,532
資金利益		40,887	40,881	38,457	39,197	35,556	△ 3,641
役務取引等利益		5,957	5,186	5,071	5,332	5,604	272
その他業務利益		5,558	1,975	475	△ 618	1,722	2,340
うち債券関係損益（5勘定戻）		5,240	1,628	55	△ 1,129	1,372	2,501
経費	(△)	30,306	28,439	28,806	28,346	28,256	△ 90
人件費		14,748	14,445	14,284	14,441	14,372	△ 69
物件費		13,376	12,131	12,702	11,958	12,004	46
税金		2,181	1,862	1,819	1,946	1,879	△ 67
コア業務純益		16,856	17,974	15,142	16,694	13,253	△ 3,441
一般貸倒引当金繰入額	① (△)	2,871	335	1,037	△ 469	203	672
業務純益		19,225	19,267	14,160	16,034	14,422	△ 1,612
臨時損益		△ 2,070	△ 2,628	△ 140	△ 1,293	△ 1,642	△ 349
うち株式等損益（3勘定戻）		2,841	2,841	378	1,636	1,309	△ 327
うち不良債権処理額	② (△)	5,995	5,949	754	2,095	3,062	967
うち償却債権取立益	③	1,216	555	692	63	69	6
経常利益		17,155	16,638	14,020	14,741	12,780	△ 1,961
特別損益		△ 2,764	△ 770	△ 333	△ 629	△ 710	△ 81
税引前当期純利益		14,390	15,868	13,687	14,112	12,070	△ 2,042
当期純利益		7,459	9,629	10,107	9,479	8,023	△ 1,456

# 資料-③ 北國銀行の主要計数推移

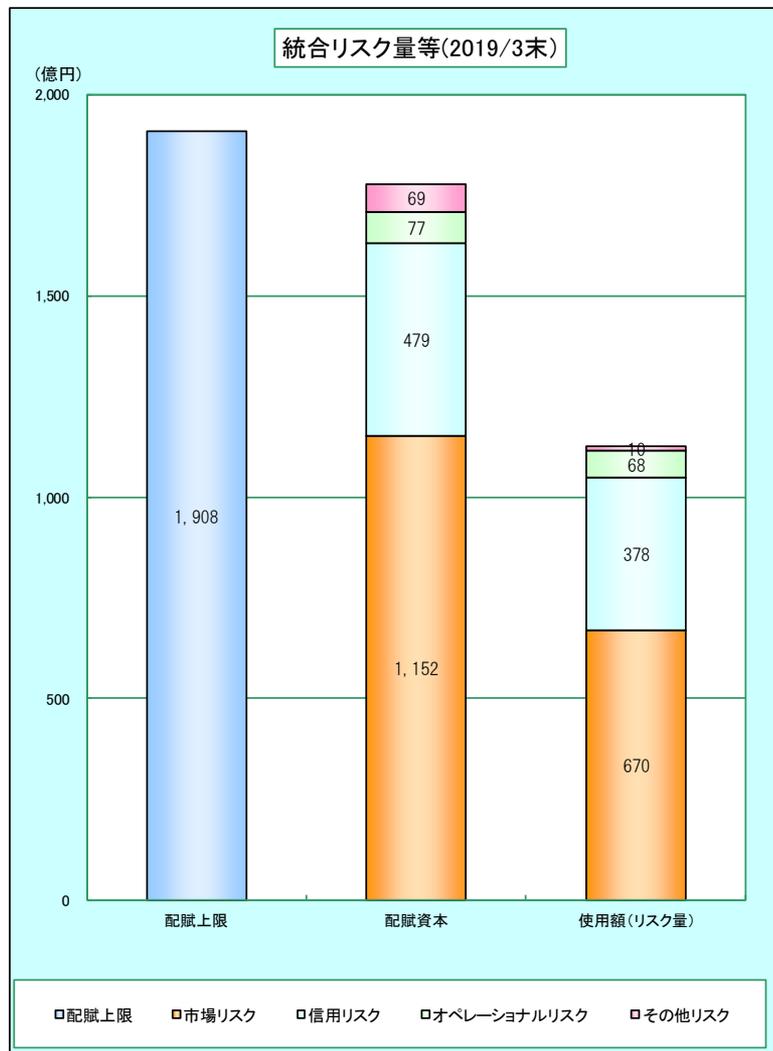
(億円、%)

平残、利回等	2015.3期		2016.3期		2017.3期		2018.3期		2019.3期		前期比	
	平残	利回	平残	利回								
うち貸出金	23,599	1.28	23,208	1.27	22,867	1.23	23,456	1.13	24,655	1.06	1,199	△ 0.07
うち有価証券	10,224	1.15	10,299	1.21	9,899	1.19	9,803	1.52	10,080	1.31	277	△ 0.21
うちコールローン等	837		5,090		5,441		7,752		10,676		2,924	
運用勘定合計	34,660	1.22	38,597	1.10	38,208	1.06	41,012	1.03	45,412	0.88	4,400	△ 0.15
うち預金	30,325	0.02	30,326	0.02	31,135	0.01	32,507	0.01	33,833	0.01	1,326	0.00
うち譲渡性預金	1,296	0.05	1,189	0.04	1,031	0.02	1,036	0.02	919	0.01	△ 117	△ 0.01
うちコールマネー等	3,182		5,971		5,161		7,528		10,704		3,176	
調達勘定合計	34,803	0.04	37,486	0.05	37,327	0.05	41,071	0.07	45,458	0.10	4,385	0.03

(%)

	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	前期比
総資金利鞘	0.31	0.30	0.24	0.27	0.16	△ 0.11
預貸金利回差	1.26	1.25	1.22	1.12	1.05	△ 0.07
経費率	0.95	0.90	0.89	0.84	0.81	△ 0.03
OHR (コア業務粗利ベース)	64.26	61.27	65.54	62.93	68.07	5.14
ROA (当期純利益ベース)	0.19	0.23	0.24	0.20	0.16	△ 0.04
ROE (当期純利益ベース)	3.32	4.17	4.33	3.81	3.12	△ 0.69

# 資料-④ 統合リスク管理



※配賦上限：有価証券評価益等控除後の普通株式等Tier1資本

	配賦資本	使用額 (リスク量)	使用率
市場リスク	1,152	670	58%
金利リスク		174	
株式変動リスク		578	
投信価格変動リスク		152	
相関効果		▲234	
信用リスク	479	378	79%
オペレーショナルリスク等	146	78	
配賦対象リスク合計	1,777	1,126	64%

### 【リスク量 (VaR) の算定方法】

- ・金利リスク：保有期間6ヶ月、信頼区間99.9%（流動性預金については内部モデル方式を採用）
- ・株価変動リスク：保有期間6ヶ月、信頼区間99.9%
- ・投信価格変動リスク：保有期間6ヶ月、信頼区間99.9%
- ・信用リスク：保有期間1年、信頼区間99.9%
- ・オペレーショナルリスク：基礎的手法

### 【銀行勘定の金利リスクに関する比率（2019/3末）】

銀行勘定における金利リスク量	①	359億円
Tier1資本	②	2,462億円
IRRBBに関する比率	①/②	14.61%

### 【その他の指標（2019/3末）】

- ・連結流動性カバレッジ比率 135.1%（100%以上必要）



北國銀行

〈本資料に関するご照会先〉

北國銀行 総合企画部 広報CSR課

〒920-8670 金沢市広岡2丁目12番6号 TEL 076-223-9705